

平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月27日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3329 URL http://www.towafood-net.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)岸野 禎則  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部部長 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666  
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	8,305	2.8	508	22.4	526	23.1	339	38.1
29年4月期第3四半期	8,077	1.2	415	△18.5	427	△17.7	245	△12.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	42.01	-
29年4月期第3四半期	30.19	-

※平成29年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しています。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	6,906	5,003	5,003	4,737	72.5
29年4月期	7,062	4,737	4,737	-	67.1

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 5,003百万円 29年4月期 4,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	-	8.50	-	8.50	17.00
30年4月期	-	9.50	-	-	-
30年4月期(予想)	-	-	-	4.75	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1 平成30年4月期第2四半期末の配当金につきましては、今回の株式分割の効力発生日が平成29年11月1日であるため、株式分割前の株式が対象となります。このため、第2四半期末の配当金は1株当たり9.5円となり、前回予想からの修正はありません。

2 今回修正予想の合計は、株式分割前の第2四半期期末配当と株式分割後の期末配当であるため単純合計できませんので記載しておりませんが、前回予想からの実質的な変更はありません。

3. 平成30年4月期の業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	3.8	710	33.2	730	32.0	425	127.0	52.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については株式分割後の1株あたりの当期純利益を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年4月期3Q	8,186,400株	29年4月期	8,186,400株
30年4月期3Q	116,658株	29年4月期	116,604株
30年4月期3Q	8,069,776株	29年4月期3Q	8,133,574株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）平成29年11月1日付けにて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(修正再表示)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第3四半期（平成29年11月1日～平成30年1月31日）における外食業界は、緩やかな景気回復基調の中で、業種や業態の垣根を越えた顧客獲得競争が激化しております。さらに人手不足に伴う人件費の上昇、食材価格の高騰による厳しい事業環境も続いております。

このような中、1月には4年ぶりの大雪や長引く低温という悪天候の影響もありましたが、東京圏駅前ベストロケーションという立地を活かし、営業コンセプトに基づいた店舗展開と店顔マーケティングにより、全社売上は17ヶ月連続で前期比をクリアしております。

第2四半期に創店グランドオープンした「自家焙煎椿屋珈琲 新浦安店」、鉄板ステーキ・お好み焼きを中心に豊富なお酒を楽しめる新たな業態「こてがえし 有楽町店」、第3四半期に入り12月1日創店 カジュアルダイニングとしての新業態「イタリアンダイニングDONA 経堂コルティ店」、12月13日創店の「椿屋カフェ 新越谷ヴァリエ店」と創店店舗が好調を維持しているほか、さまざまなテレビ、雑誌等のメディアにて取り上げられたことも店舗での客数増となり売上を後押しする事となりました。生産カンパニーではコンフェクショナリー製造の椿屋珈琲焼き菓子、戸塚カミサリー製造のパスタソース中心に店舗外販売を伸ばしていることも全社売上をさらに押し上げております。

収益面に関しましては、不採算店の退店を行うと共に、2店舗の新規創店を実施したことから、創店費用として34,029千円（前期7,023千円 前期比484.5%）の投資を行わせて頂いております。

以上の結果、第3四半期累計期間の売上高は83億5百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は5億8百万円（同22.4%増）、経常利益は5億26百万円（同23.1%増）、四半期純利益は3億39百万円（同38.1%増）となりました。

第4四半期におきましては、大いに盛り上がった平昌オリンピックで外食ではマイナスの影響も受けますが、来期20期に向けた積極的な投資として3月・4月で6店舗の創店グランドオープンを行います。また既存店におきましては、2店舗の改装リニューアルオープンを実施いたします。

このような取組みに加え、従業員持ち株会加入推進の継続、2月25日に行われた東京国際マラソン2018では、グループ全体で13名もの社員が参加、完走致しました。このエネルギーを今後もメニュー政策、店顔マーケティング、接客サービスなど店舗運営に反映し、業績向上に努めてまいります。

#### 掲載メディア

- 11月 フジテレビ系列 乃木坂46の「My first baito」 ※椿屋珈琲グループ  
週刊ダイヤモンド 外食チェーン全格付け ※椿屋珈琲グループ
- 12月 東洋経済オンライン 「東和フードが変えたお好み焼き店の常識」  
※こてがえし・ぱすたかんグループ  
外食専門誌 Food Biz 「独走する椿屋珈琲店」 ※椿屋珈琲グループ
- 1月 フジテレビ系列お正月スペシャル  
元宝塚トップスター 一路真輝さんのオススメ  
椿屋珈琲店 「プラチナレアチーズケーキ」

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1億28百万円減少し、20億24百万円となりました。これは、現金及び預金が2億20百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて28百万円減少し、48億81百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて1億56百万円減少し、69億6百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて3億33百万円減少し、11億76百万円となりました。これは、一年以内償還予定の社債が2億10百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて89百万円減少し、7億26百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億23百万円減少し、19億2百万円となりました。  
(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて2億66百万円増加し、50億3百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月29日に公表いたしました、平成30年4月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,492,744	1,272,735
売掛金	103,803	275,623
SC預け金	280,090	229,947
商品及び製品	34,197	33,301
原材料及び貯蔵品	82,995	77,379
前払費用	119,735	95,474
繰延税金資産	34,419	34,419
その他	5,001	5,642
貸倒引当金	△431	△356
流動資産合計	2,152,557	2,024,166
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	974,270	1,010,024
工具、器具及び備品（純額）	255,129	306,329
土地	1,118,599	939,000
リース資産（純額）	192,324	134,918
その他（純額）	77,284	105,647
有形固定資産合計	2,617,608	2,495,919
無形固定資産		
長期前払費用	27,323	21,598
繰延税金資産	233,349	232,444
差入保証金	460,909	459,109
敷金	1,508,872	1,607,813
その他	41,500	42,266
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,271,951	2,363,230
固定資産合計	4,910,184	4,881,926
資産合計	7,062,741	6,906,093

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	245,722	231,956
1年内返済予定の長期借入金	42,860	32,125
1年内償還予定の社債	210,000	-
リース債務	89,456	75,619
未払金	402,769	479,028
未払賞与	102,408	-
未払費用	134,947	118,998
未払法人税等	135,922	111,905
未払消費税等	116,316	52,753
預り金	27,197	8,328
賞与引当金	-	57,920
資産除去債務	-	5,545
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,509,645	1,176,225
固定負債		
長期借入金	171,410	150,000
リース債務	127,055	76,299
退職給付引当金	296,544	298,678
資産除去債務	199,846	180,230
その他	20,984	20,984
固定負債合計	815,841	726,192
負債合計	2,325,486	1,902,418
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	3,469,074	3,735,468
自己株式	△100,331	△100,429
株主資本合計	4,725,093	4,991,389
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,161	12,286
評価・換算差額等合計	12,161	12,286
純資産合計	4,737,254	5,003,675
負債純資産合計	7,062,741	6,906,093

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	8,077,829	8,305,783
売上原価	2,155,291	2,220,215
売上総利益	5,922,537	6,085,567
販売費及び一般管理費	5,506,925	5,576,840
営業利益	415,612	508,727
営業外収益		
受取利息	101	89
受取配当金	579	599
受取家賃	20,037	19,467
その他	3,997	3,284
営業外収益合計	24,716	23,441
営業外費用		
支払利息	5,779	3,412
不動産賃貸原価	2,558	1,272
その他	4,224	1,029
営業外費用合計	12,562	5,713
経常利益	427,766	526,455
特別利益		
固定資産売却益	-	63,421
その他	-	770
特別利益合計	-	64,192
特別損失		
固定資産除却損	10,670	58,966
減損損失	36,216	12,184
特別損失合計	46,887	71,150
税引前四半期純利益	380,878	519,497
法人税等	135,321	180,474
四半期純利益	245,557	339,022

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。